



平成 28 年 8 月 8 日

会 報 第 1 号

会津「The13」事業協議会 第 1 回 検討委員会・勉強会

発行：会津「The13」事業協議会

事務局 〒965-0873 福島県会津若松市追手町 5 番 36 号

TEL 0242-29-1910 FAX0242-29-5916 E-mail g-ryohei@adoken.co.jp

1 開催日

1. 日時：平成 28 年 8 月 6 日(土)13:15～15:45
2. 場所：会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」3F 研修室 1
会津若松市栄町 3 番 50 号 TEL 0242-22-4700
3. 検討委員会：テーマ「森林経営と林業」
アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏
4. 勉強会(記念講演)

演題 「地域経済循環のための森林資源利用～

木質バイオマスエネルギー利用を通じて～」

国立研究開発法人 森林総合研究所

林業経営・政策領域林業システム研究室

室長 久保山 裕史 氏

演題 「プラチナ構想ネットワークの地域活性化支援」

プラチナ構想ネットワーク事務局 局長 保木 純 氏

5. その他

事務局連絡 先行事例視察実施について

(石川県小松、福井県あわら方面)

※ 委員、行政、企業より 46 名のご参加をいただき開催できましたことに御礼申し上げます

この号の内容

1 開催日程

2 検討委員会

「森林経営と林業」

アルファフォーラム 小林靖尚氏

3 勉強会

・「地域経済循環のための森林資源
利用～木質バイオマスエネ
ルギー利用を通じて～」

森林総合研究所 久保山 裕史 氏

・「プラチナ構想ネットワークの地域
活性化支援」

プラチナ構想ネットワーク
事務局長 保木 純 氏

2 検討委員会

1. 唐橋理事長の挨拶

連絡事項

先進地視察

日時：平成 28 年 9 月 12 日(月)

～13 日(火)

内容：先進地視察 ・福井県あわら

・石川県小松

費用：委員 22,000 円(税別)

アドバイザー、準会員 66,000 円(税別)

一人部屋加算額 5,000 円(税別)

参加申込、変更等がありましたら、下
記連絡先までご連絡ください。

事務局担当：後藤

TEL 0242-29-1910

E-mail: g-ryohei@adoken.co.jp



次回スケジュール

第 2 回 検討委員会・勉強会

日時:平成 28 年 10 月予定

場所:未定

内容

- ・川上(森林経営～林業)の課題と、
解決策の検討
- ・13 市町村で取り組む事業の特徴
について

講演

東京大学千葉演習林
助教 當山 啓介 氏

詳細が決定次第ご連絡いたします
ので、その際はご出席賜りますよう
よろしくお願いたします。

2. 菅家副理事長の趣旨説明



3. 検討委員会

テーマ「森林経営と林業」

アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏

目指したい地域像についての意見交換、農村振興や雇用確保、地域循環経済の考え方の整理、会津方部 13 市町村の共通課題の再認識、13 市町村が一体となって活動することの意義の確認をキーワードに、会津 13 市町村管内における現在の森林蓄積量を基礎資料とし、森林資源活用による川上(林業経営:森林伐採、植林)～川中(製材品:ラミナ、チップ)～川下(熱供給事業)までの循環型地域経済構築の流れに関しご説明いただきました。

質疑応答の時間には、行政、企業の関係者より活発なご質問をいただき、本事業に対する意識の高さ、課題、意義の重要性を再認識した次第であります。



3 勉強会

演題 「地域経済循環のための森林資源利用～

木質バイオマスエネルギー利用を通じて～」

国立研究開発法人 森林総合研究所

林業経営・政策領域林業システム研究室 室長 久保山 裕史 氏

オーストリアの先進地情報をまじえながら、会津における木材供給ポテンシャルから搬出、コストにいたるまでの全体像の把握等、豊富な資料を使用してご説明いただきました。



演題 「プラチナ構想ネットワークの地域活性化支援」

プラチナ構想ネットワーク 事務局 事務局長 保木 純 氏

プラチナ構想ネットワークを代表し、保木局長より「森林資源活用はプラチナ社会を体現するプロジェクト」との熱いエールが本協議会へ送られました。



会津「The13」事業協議会

第1回 検討委員会・勉強会 (実施日：平成28年8月6日)

福島民報新聞
平成28年8月8日掲載



森林経営と林業について解説する小林社長(右端)

若松で13市町村商工関係者

雇用創出、まち活性化へ

森林資源活用探る

会津地方十三市町村の商工会議所などで組織する「会津『The13』事業協議会」の第一回検討委員会・勉強会が6日、会津若松市の會津稽古堂で開かれた。専門家による講演を聴き、会津の森林資源の世界的な可能性や世界で戦うための課題などについて関係者が理解を深めた。

約五十人が出席した。唐橋幸市郎理事長があいさつし、菅家洋一 副理事長が趣旨を説明した。

小林靖尚アルファオラム社長が「森林経営と林業」をテーマに説明した。十三市町村で協力することによって、森林資源を活用した地域循環型経済が構築でき、安定した雇用創出やまちの活性化につながる」と話した。

「会津十三市町村の森林面積は約二十三万畝で、市町村全面積の約74%を占める。これは世界一の森林率を占めるフィンランドに次ぐ日本平均の66%をしる。本県の71%をも上回る」と森林資源について世界的な可能性の大きさを示した。

続いて勉強会を開いた。森林総合研究所の久保山裕史林業経営・政策領域林業システム研究室長が「地域経済循環のための森林資源利用」木質バイオマスエネルギー利用を通して、プラチナ構想ネットワークの保木純事務局長が「プラチナ構想ネットワークの地域活性化支援」をそれぞれ演題に話した。

福島民友新聞
平成28年8月9日掲載

木質燃料普及へ勉強会 若松

会津の豊富な森林資源を興局管内13市町村の商工会や農業団体、企業などで構成し、市町村とも足並みをそろえる官民一体の組織。森林資源を活用し、雇用創出や地域振興、木質バイオマス熱エネルギー利用の普及啓発、先進事業による集客に取り組んでいく。

事業としては、木材の伐採や運搬、加工、供給までを一貫して手掛ける方針で、

2018(平成30)～19年ごろに木質バイオマス燃料事業を本格化させる予定。建築材「CLT(直交集成板)」の需給調査や事業推進も進めていく。

この日は、理事長の唐橋会頭があいさつし、副理事長の菅家洋一、会津土建社長が事業の趣旨を説明。検討委では「森林経営と林業」をテーマに、目指す地域像などを意見交換した。勉強会では、森林総合研究所の久保山裕史氏、プラチナ構想ネットワークの保木純事務局長が講演した。



会津の森林資源の活用について理解を深めた参加者